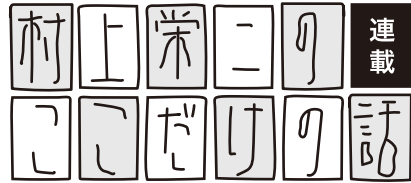




意見広告



村上 栄二のここだけの話

今月のテーマ

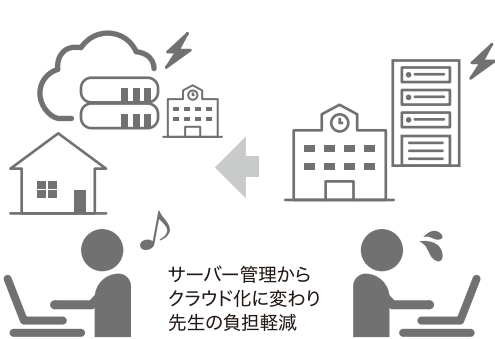
政治家は、社会構造の仕組みを作り出す「職人」であるべきだ。

多くの政治家がICT利便性を語るが実現性を語れる人が少ない。政治家は社会構造の仕組みを作り出す職人であるべきだ。ICT政策が跋扈するのだ。今回は私が実現した県議会質問をわかりやすく解説する。

学校の先生も家で仕事ができるようになった。

2021年3月9日時点で校務支援システム(出席成績管理など先生業務軽減)のクラウド導入を提案。当時サーバー管理していた仕組みをクラウドサービスに転換する事を提案した。慎重に検討を進めるといふ答弁だったが現在はクラウド化を導入。これは当時、コロナ禍で教育行政オンライン化の遅れが顕著となった為に導入した経緯があり、そのため学校の先生も家で仕事ができるようになった。
・優先ネットワークスピードは20年で156万倍、無線ネットワーク40年で100万倍。

さらに日々、格段に機能もスピードも上がってきている。政府は「平成31年8月時点で国は校務支援システムクラウド化」の規定があったが、広島県はサーバー管理を頑なに守ろうとした。しかし、時代の変化とコロナ禍と共にクラウド化を実現。家で仕事をもち帰る事ができる学校の先生の精神的負担軽減につながった。
・教育委員会の立場からは、「家で仕事をすると業務時間が減らず結果、働き方改革とならないと言われてきた」が、現在若手の先生が増えてきている中で、結婚し家庭を持つと考えると、打ち込み程度の作業は家でしたいものだ。なぜなら学校で業務をしていると、生徒や先生達の対応な



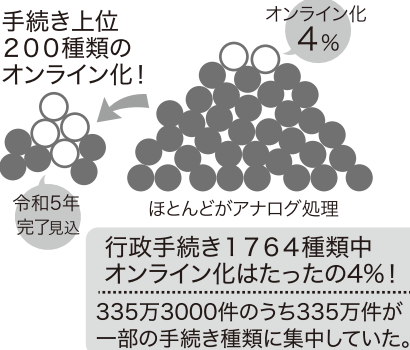
サーバー管理からクラウド化に変わり先生の負担軽減

どで作業が一時中断する環境から、遅々として作業が進みにくいのは容易に想像できる。
【働き方改革は労働時間を減らす(効率化)だけではなく、働き方の選択肢を増やす視点も大切なDX行政の一環ではないだろうか?】

オンライン化の実務による方針の指示が必要だ。

20021年3月9日委員
会質疑の時点で、県行政手続き1764種類のうち96%1704種類がオンライン化していない事が判明した。
・1764種類の合計処理件数335万3000件のうち手続き種類は上位30%が占め、そこが年間処理件数の335万件(99%)を占めた。

2020年3月2日の本会議にて、世界のネット環境維持650兆円と言われているが、公務員の技術職員は総合土木や電気などといったカテゴリーに限定されていた件を質疑。
質問ではデジタル社会の到来に合わせてデジタル情報処理



のスペシャリスト人材確保が必要と訴え、そののち初の公務員採用となった。
オンラインを進める上で、方針と人材組織体制を理解し進めていく事で:
【現在、オンライン手続き上位200種類95%オンライン化を目指し方針転換し、令和5年度完了を見込んで進捗中である】

手続き上位200種類のオンライン化!
令和5年完了見込

賃貸マンション、月極駐車場「空き」あります!

Consort homes

お問合せ

有限会社 DC 開発研究所
☎ 084-999-3166
〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2